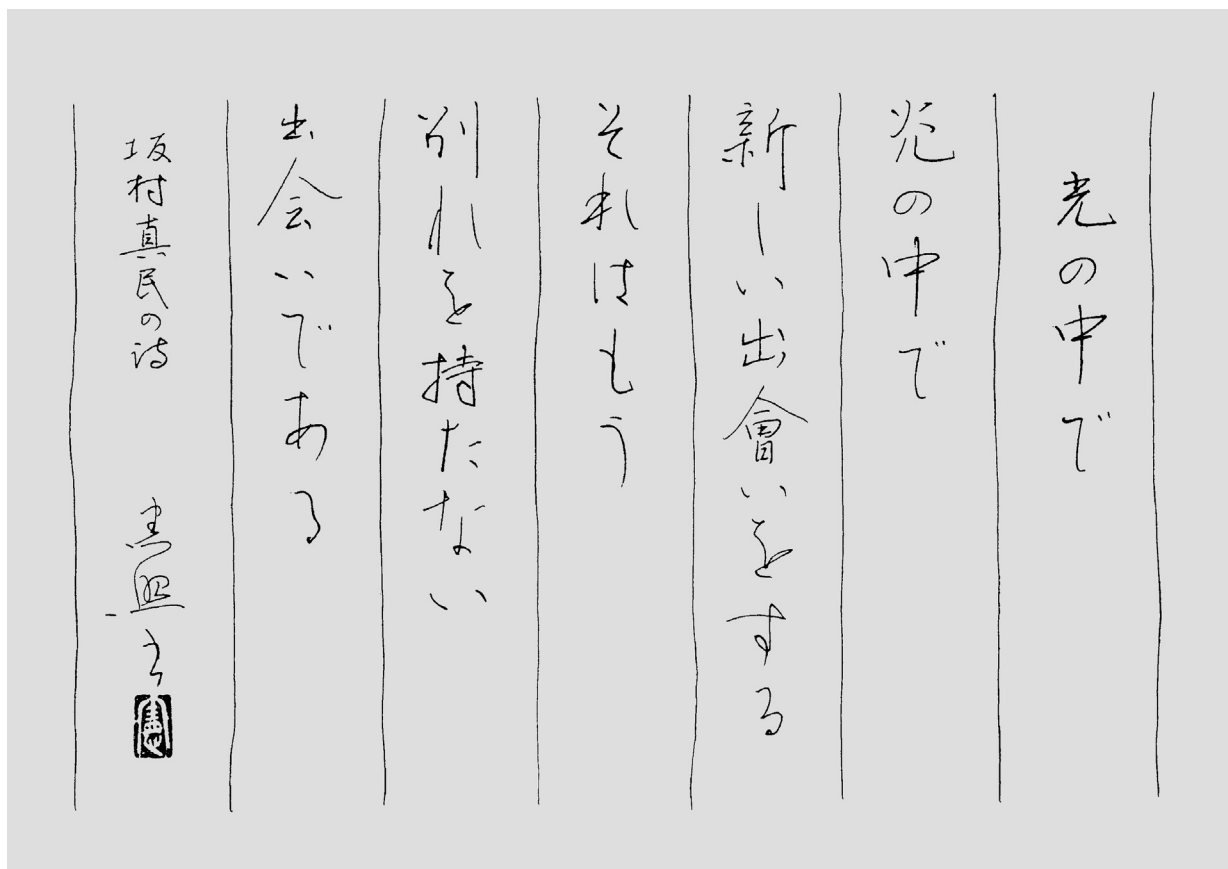


漢字かな交じり文を書く(12)

締切り 十二月二十日(必着)



奥村憲照先生書

◎書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり文」の三つがあります。

◎「漢字かな交じり文」は、実用書としてはあたり前のことですが、芸術書としては比較的新しい分野で、近代詩文書とか調和体と呼ばれています。団体によっては、新和様とか新書芸という呼称もあります。

◎今月の作品は、オーソドックスな書きぶりですが、憲照先生の温順な書風は、荘嚴なムードの詩にピッタリです。フリーハンドの野線も味わいがあります。皆さんもそれぞれに工夫してみてください。

◎誰にでも読めて、言葉の感動をストレートに表現できる「漢字かな交じり文」の世界をお楽しみ下さい。

※出典 坂村真民詩 「光の中で」

※落款(氏名)も作品の一部として、作品の最後に書き入れて下さい。(雅印のみ可)

□作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 半紙に書いて下さい。筆ペンも可です。
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

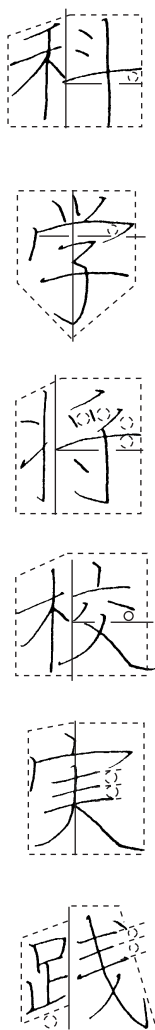
▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

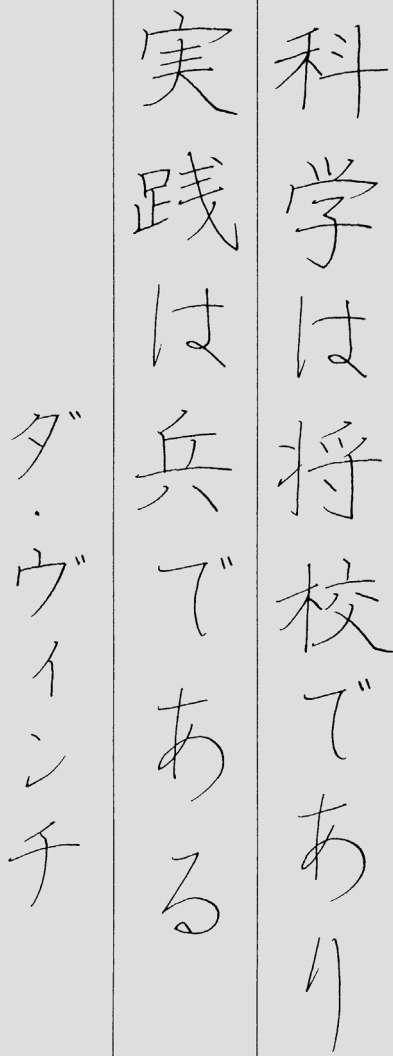
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。
一本の線の引き方、一つの払い(波法)等の基礎を、常に精習することが大切です。

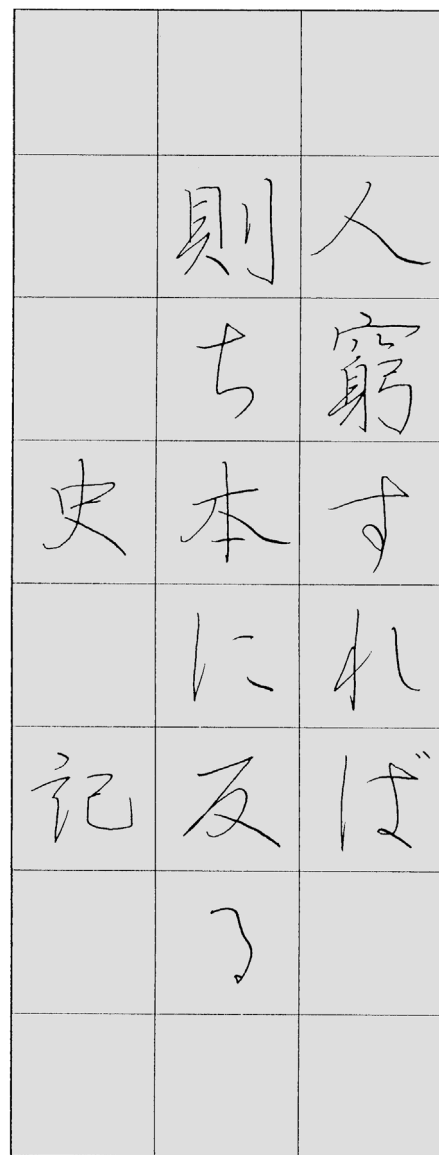


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範は楷書
▼師範は行草または草書

◆1月課題予告(行書)
人に勝たんと
欲する者は
必ず先ず自ら勝つ

★科学は：(書体は楷書)
レオナルド・ダ・ヴィンチ(一四五二
～一五一九) イタリアの芸術家
数学、幾何学、物理学、工学、解剖
学、地質学、音楽、建築などあらゆる
学問に精通した、万能の天才の言葉。
科学を軍隊にたとえ、将校(理論)
と兵(実践)の強い関係を表していま
す。また「芸術的な活動というのは、
科学的な知識による、創造的な行為で
ある」とも述べています。

◆1月課題予告(楷書)
太陽は万人の
ために輝く
フランス

★人窮すれば：(書体は行書)
『史記』 中国の正史。一二〇巻。
前漢の司馬遷撰。
「本」とは、人間を人間たらしめて
いる根源、天とか神など超越的な世界
を意味しています。
人は行きづまって、人間的な知恵で
はどうにもならなくなったとき、自己
をかなぐり捨てることによって、人知
を超えた力に助けられるということです。

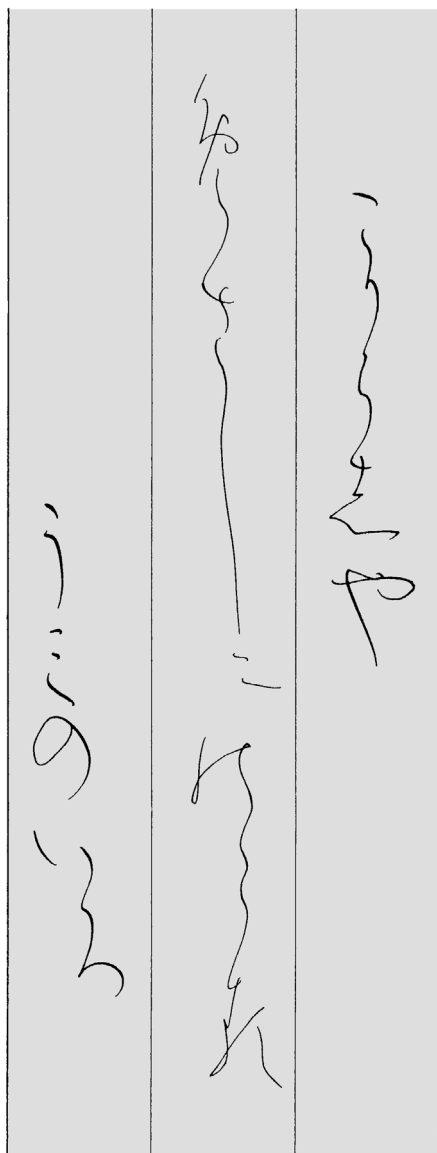
一般部かな課題

締切り 12月20日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

木がらしや目刺にのこる海のいろ

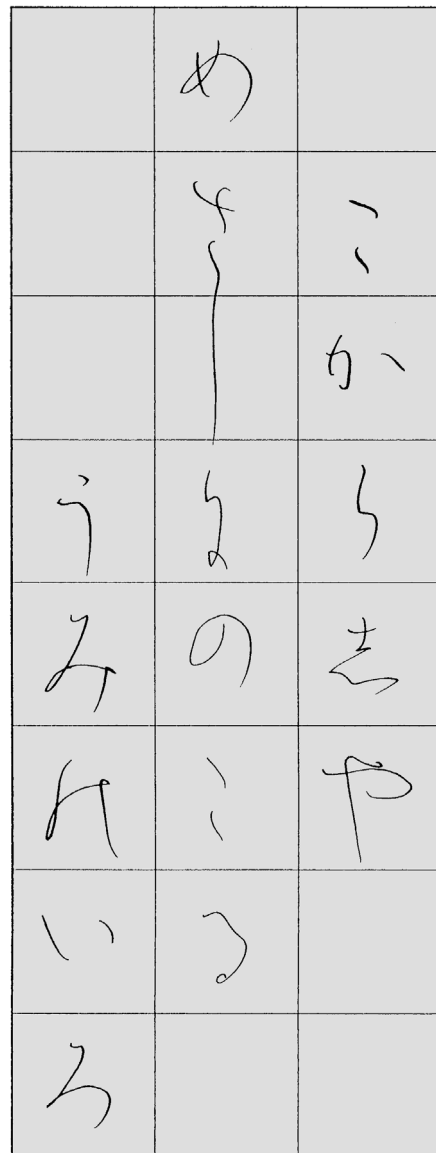


おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

木がらしや目刺にのこる海のいろ



おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

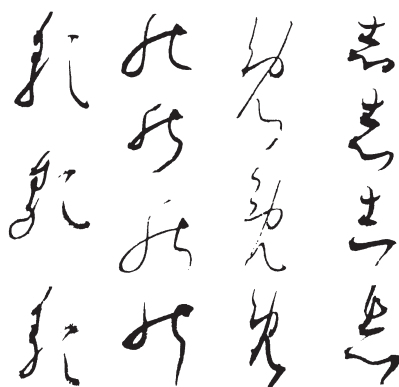
■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

◆1月課題予告

元日や手を洗ひをる夕ごろ

（芥川龍之介）

類の 能の 免の 志の



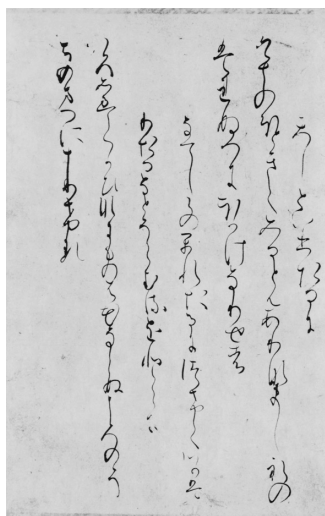
二玄社かな字典より

木がらしや目刺にのこる海のいろ
〔句意〕木枯らしの吹き荒ぶ初冬の寒い日に、知人より送られて来た目刺しは、いかにも新鮮で、海の香りをとどめ、蒼い海の色が残っていることである。
（芥川龍之介）

〔古筆参考〕

〔古筆参考〕

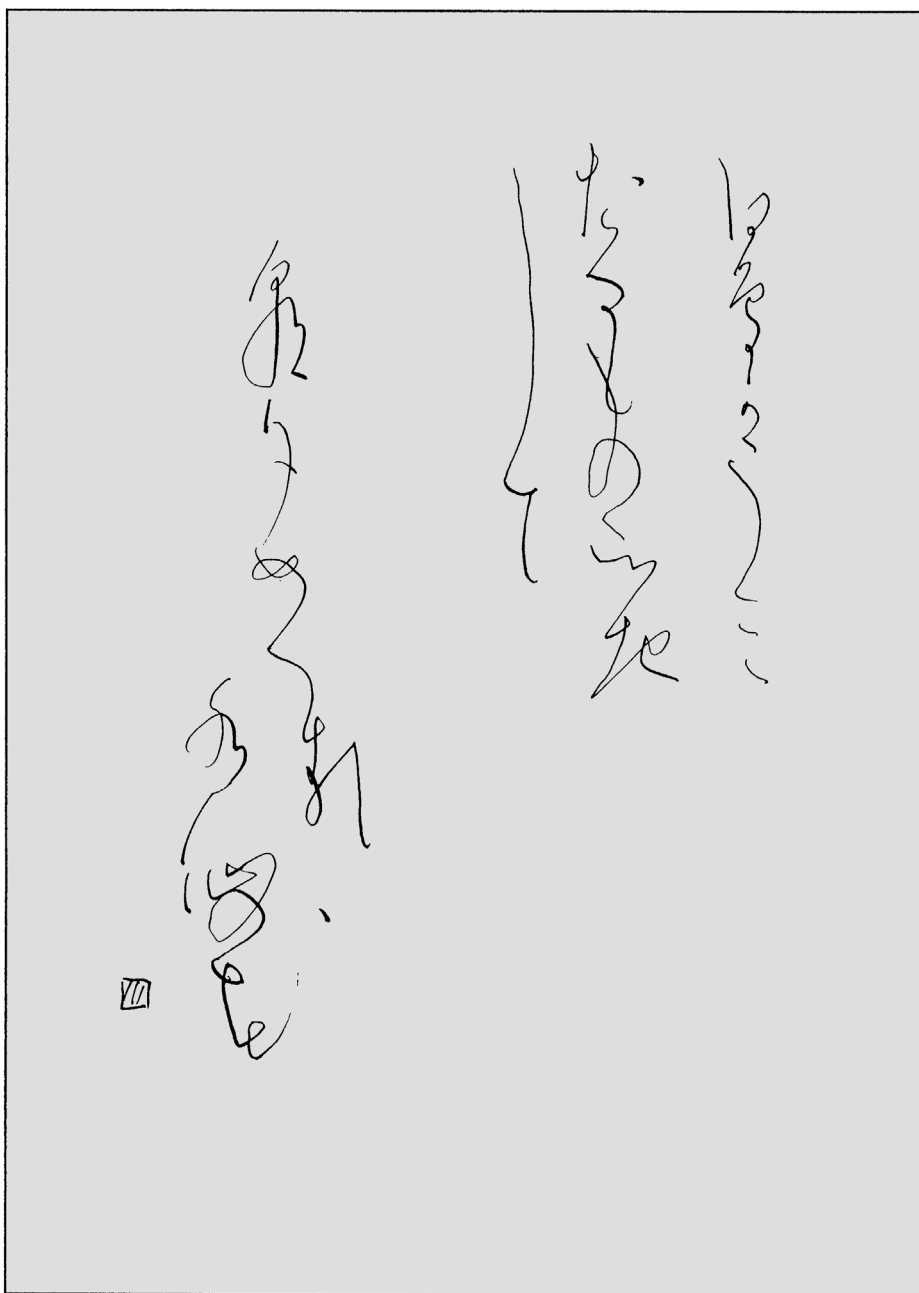
いずみ しき ぶ ぞくしゅうぎれ
和泉式部続集切



てしといひたるに
介本天悲
けさのほとときとみるとありなまししの
盤連支本可奈利者
はれぬへきほかけなりせは
奈この開爾徒希天可盤
なてしこのかれたるにつけて心かは
利奈奈流登爾
りたるなとうらむるをどこに
いろみえてかひなきものは花ならぬころのう
ちのまつにさりける
万利希類

締切り 十二月二十日（必着）

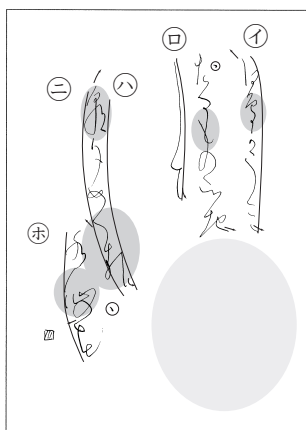
築瀬舟香書



白鳥が生まるもの心地して
朝夕めづる水仙の花

〔歌意〕 白鳥が生んだもののような気
高く清らかな心持ちがして、朝に夕べ
にいとむ水仙の花です。

〔出典〕 名歌即訳 与謝野晶子
〔解説〕



・①と②、①と③、①と④、②と⑤、
②と⑥、③と⑦、それぞれ呼応。
・一行の中の密の部分・密の動き
に注意。

・○ 大きな間大切。
・△ の方向・○ の位置注意。

まとめとして

一年間和泉式部続集切を見てまいり
ましたが、皆さんは今迄に学んだ古筆
の中でどれが自分の心の琴線に触れた
でしょうか。自分の持っているものに
加えて古筆が入れば一段と格調の高い
作品となるでしょう。来年は更に飛躍
の年となりますように！

◆1月課題予告

うぐひすの鳴けどもいまだ降る雪に
杉の葉しろき逢坂の山

（新古今和歌集 太上天皇）

締切り 12月20日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイディアを生かして自由
に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな
年賀状をお待ちしています。

賀 春

新しい年が御一家皆様にとり
まして幸多い年であります
ようお祈り申し上げます 万 春
平成二十三年の

はじめに 松野竹子

賀 春

新一年が御一家皆様にとり
まして幸多い年であります
ようお祈り申し上げます
平成二十三年の
はじめに 松野竹子

横 書 き 課 題

おか じま けい せん 書
岡 嶋 桂 川

「万葉集」の歌は、ほぼ4500首に
のぼるが、大部分は恋歌である。

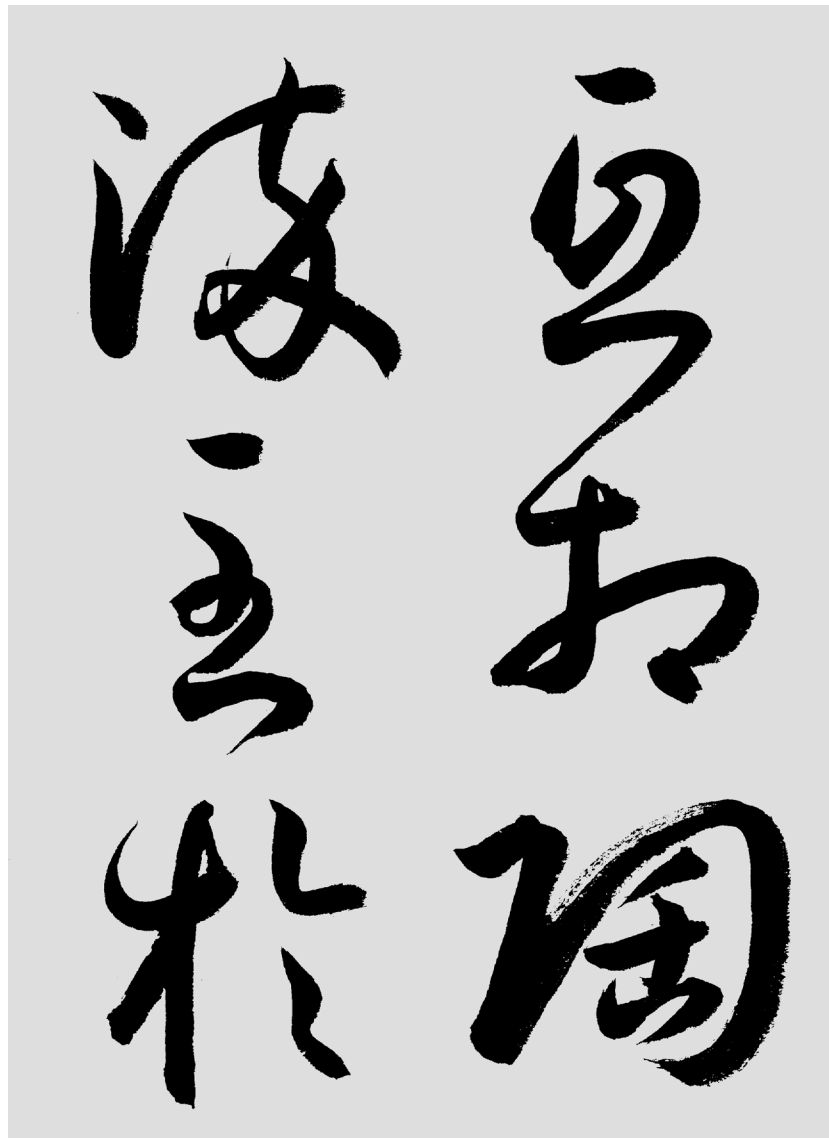
福岡県朝倉市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 12月20日（必着）

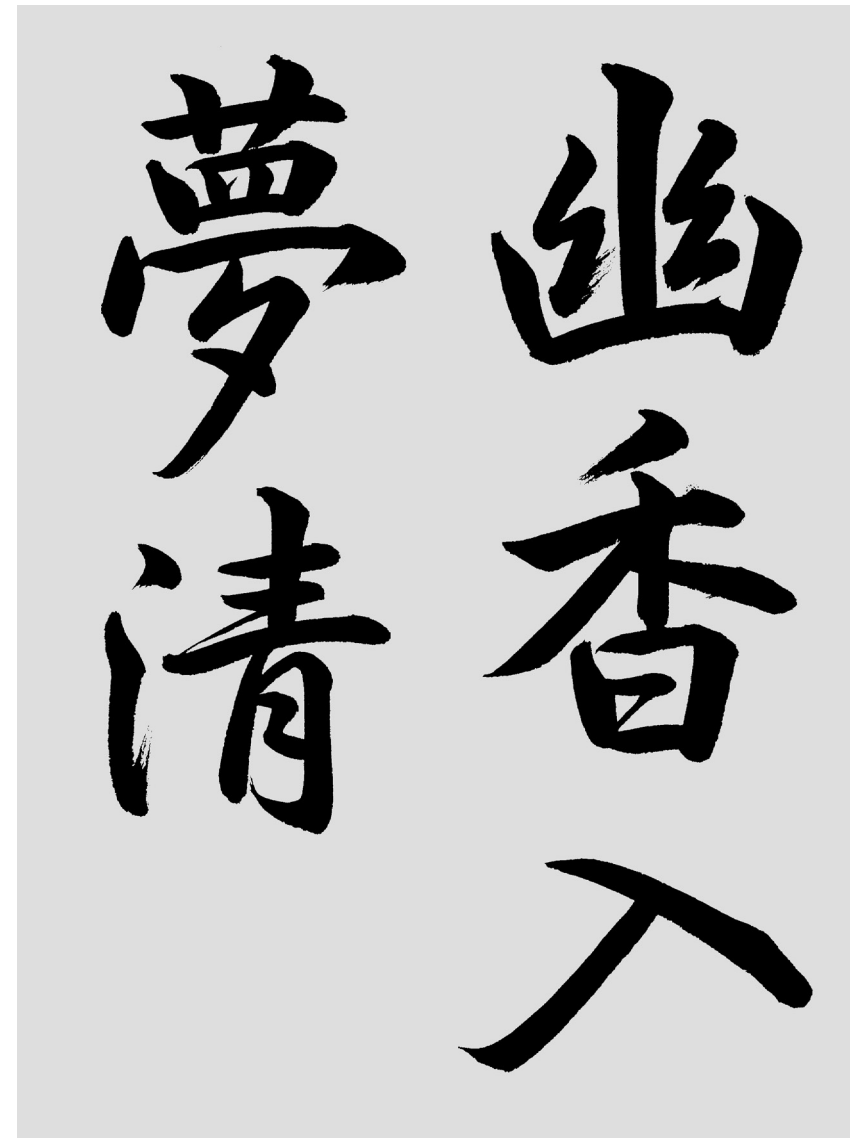
互
相
陶
淬
至
於



〔出典〕書譜（687）〔筆者〕孫過庭（648?～703?）
 〔読み〕^{たが}互^あいに^{とうさい}相^{おうしゃ}陶^ち淬^ゆす。（王謝の族、郗庾の^{ともがら}倫に）至りては、

準初段から師範まで

奥^{おく}村^{むら}暢^{のぶ}之^{ゆき}臨



〔読み〕幽香夢に入りて清し。
 〔大意〕よい香りが夢の中まで入って清々しい。

新入から1級まで（行書）

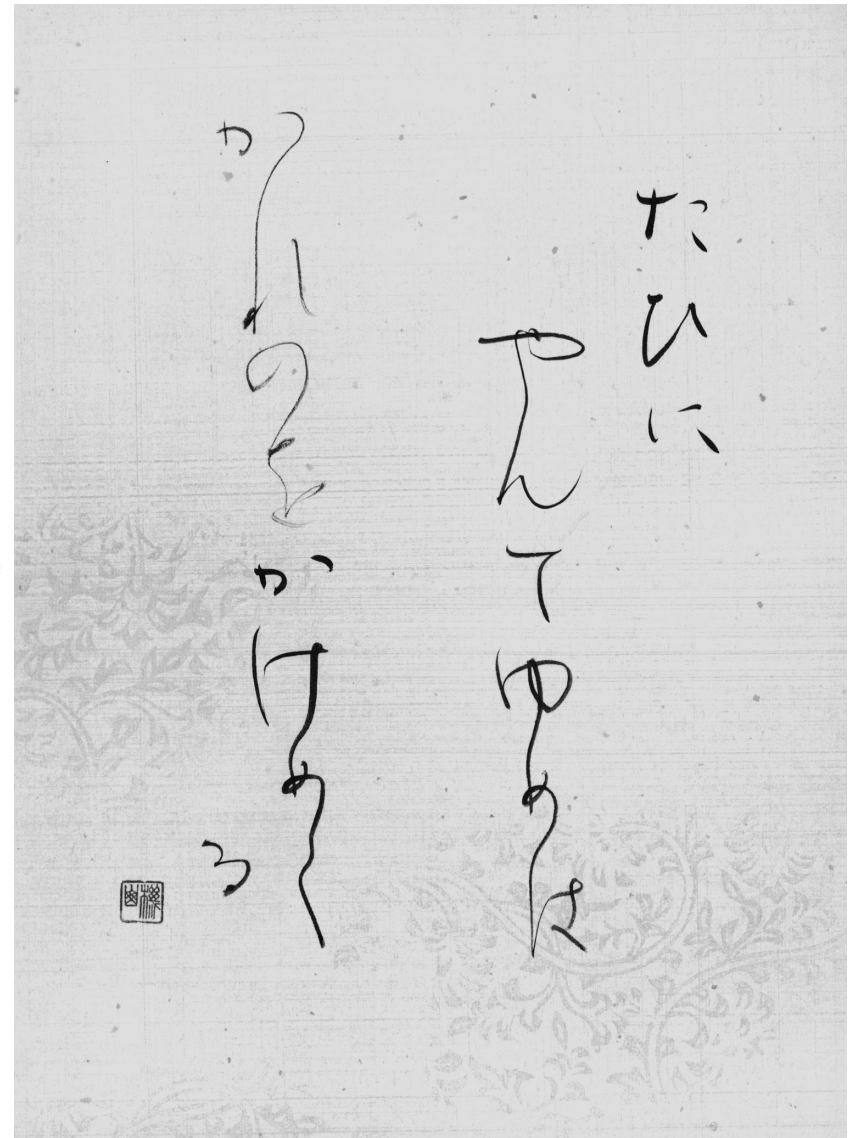
澤^{さわ}静^{せい}雨^う書

一般部毛筆かな課題

締切り 12月20日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書



〔出典〕松尾芭蕉

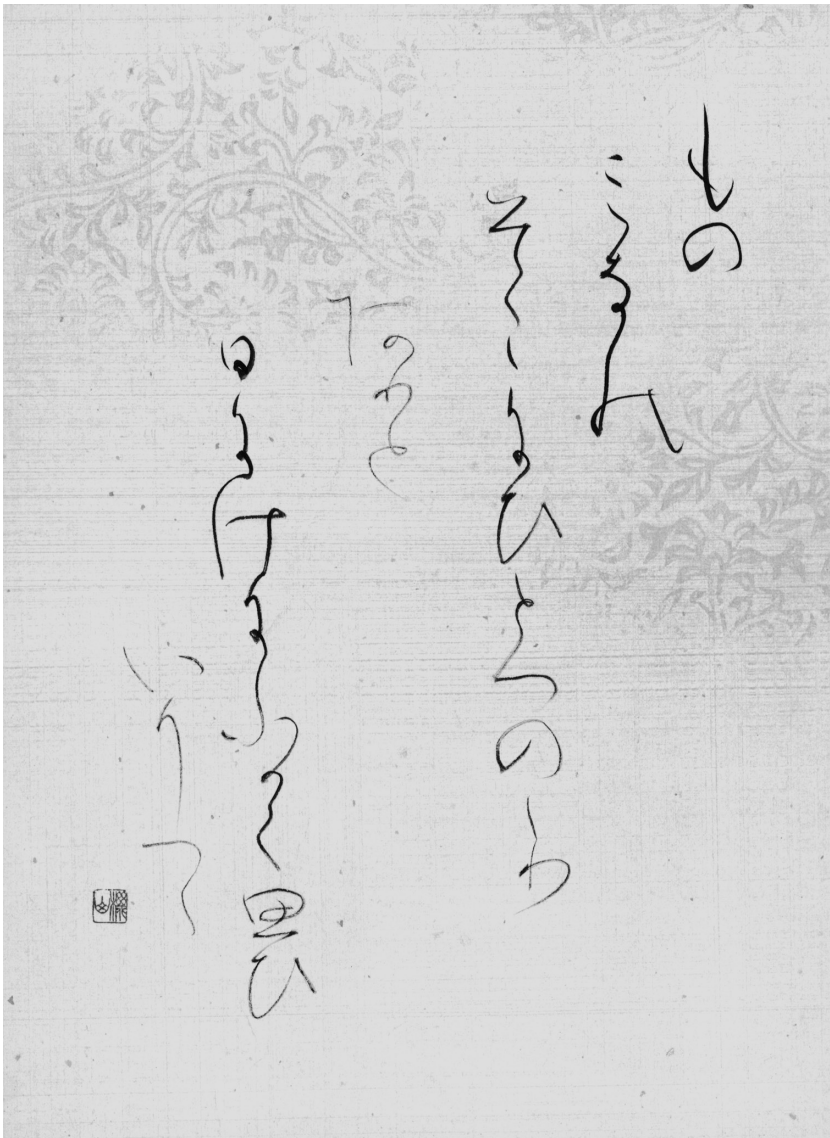
〔句意〕芭蕉最後の吟。命旦夕に迫ってもなお、旅を思い風雅を思う心情が強く迫る。詩人の死に臨んでの悼ましい心境の句。

※検定試験1級コースを兼ねる。

準初段から師範まで

旅に病で夢は枯野をかけ廻る

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



※検定試験三段〜教範コースを兼ねる。

物の三奈能さひひとつの法ありと、物みな底に一つの法ありと、日にけに深く思ひ入りつつ

〔出典〕湯川秀樹

〔歌意〕万物すべての根底には一つの法則があるのだと、日毎にわたしの思いは、深まり深まりしている。

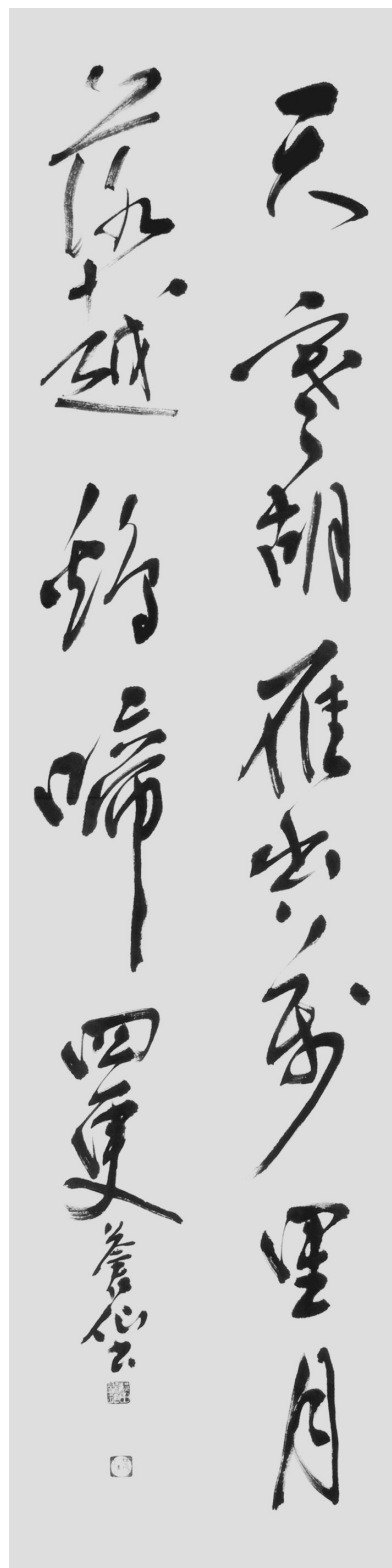
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 十二月二十日（必着）

半切（一三六cm×三五cm）

荻田蒼仙書



天寒胡雁出万里月落越鵝啼四更
 〔大意〕天寒く胡地の雁は万里の遠きを出て月は沈み越地の鵝は夜明けを告げる。
 初出品の方へ
 支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

載表元

鍋物がおいしい季節とすうりた

日ごろ何かとお心遣いをいただく

お礼の印に当地では評判の地酒を

お届けいたします。お試し下さい。

平瀬祐子

書 華 玲 田 樋

半紙（334mm×240mm）

〔条幅解説〕何枚か書きましたが、平凡ながら最初の一枚が手本としてはよいかと思ひ選びました。

前回の単体を意識して一文字、二文字、三文字と続けて字間の変化を試みました。

鍋物がおいしい季節となりました
 日ごろ何かとお心遣いをいただく
 お礼の印に当地では評判の地酒を
 お届けいたします。お試し下さい
 （ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

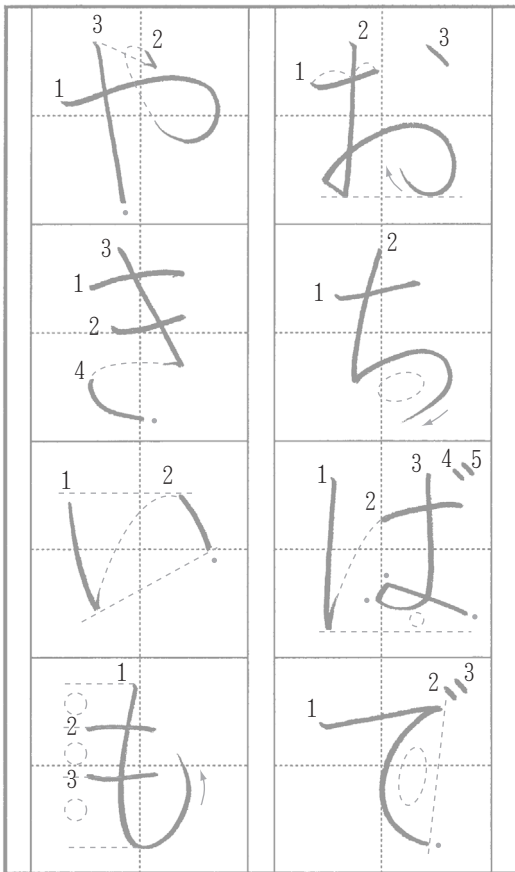
■ 新人から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績（天位～5等）は、評価により毎月変わります。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

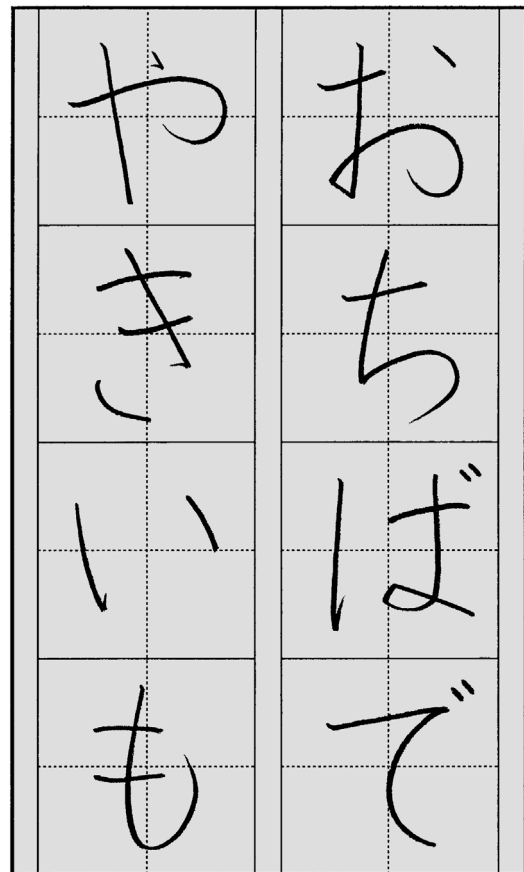
※検定試験三段コースを兼ねる。

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



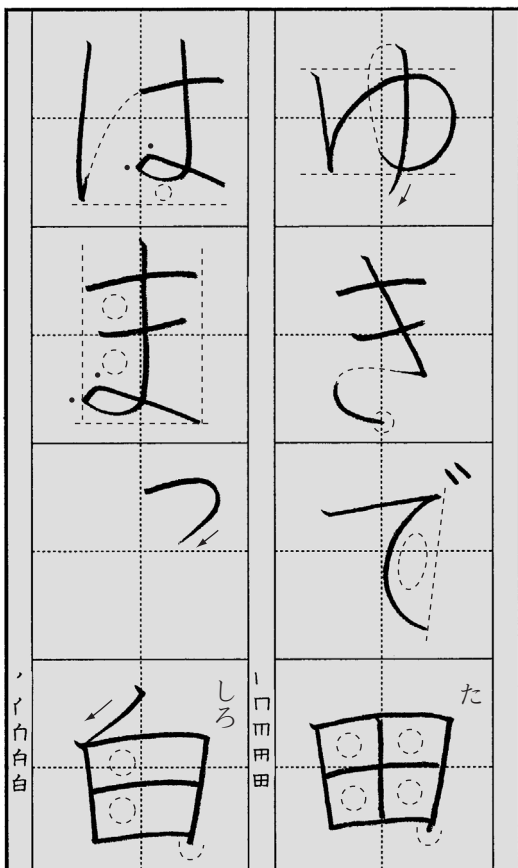
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

小三年まで
三宅容玉書



新入1級

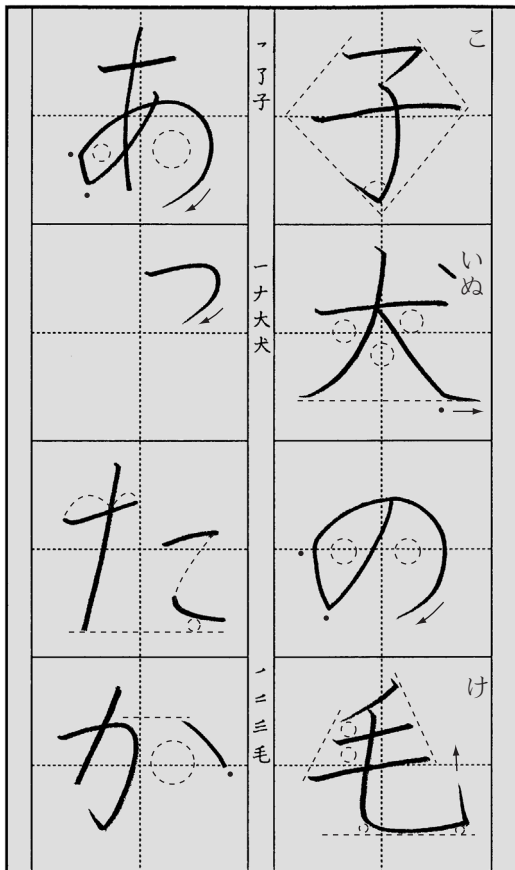
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

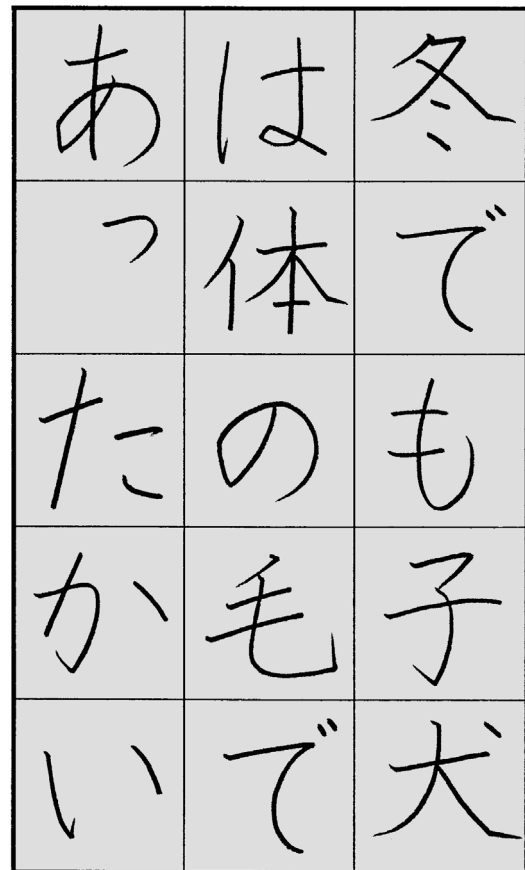
準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

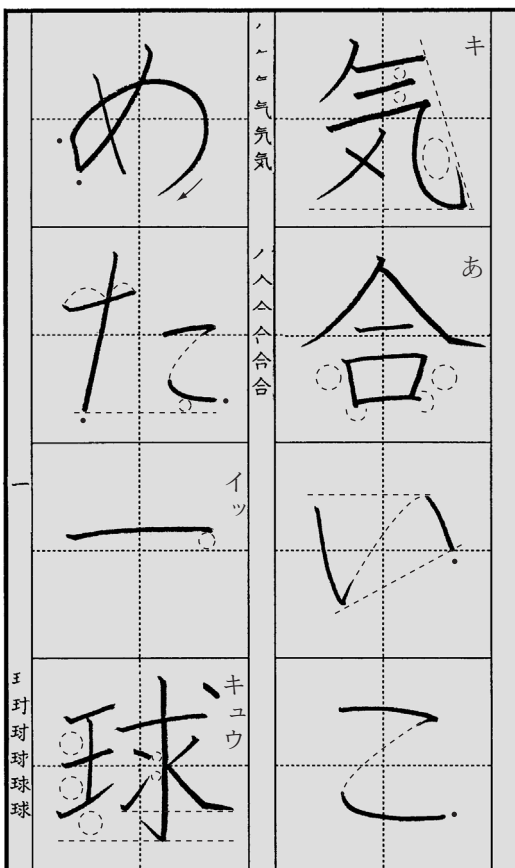


新入1級

小二年



準初段以上



新入1級

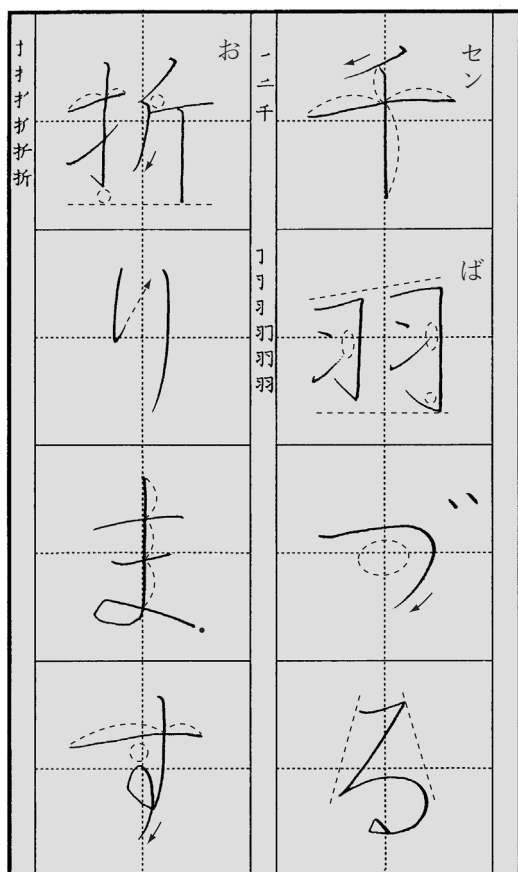
小三年



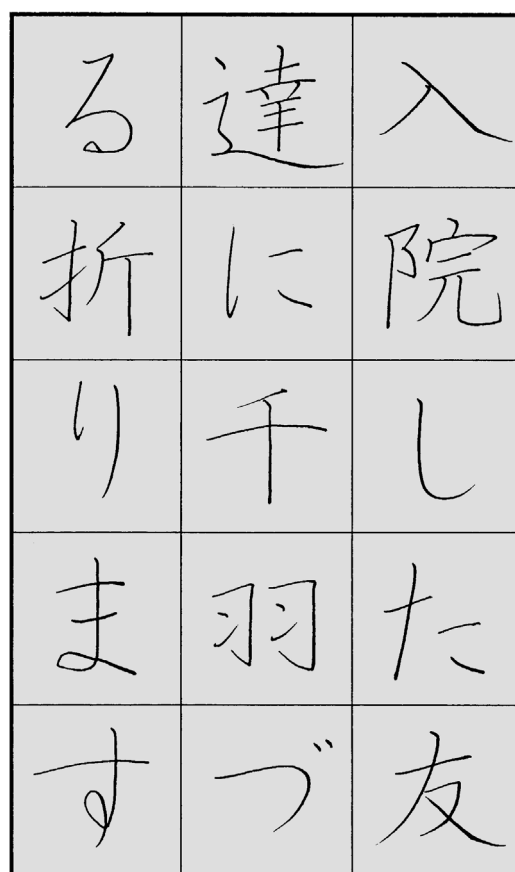
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

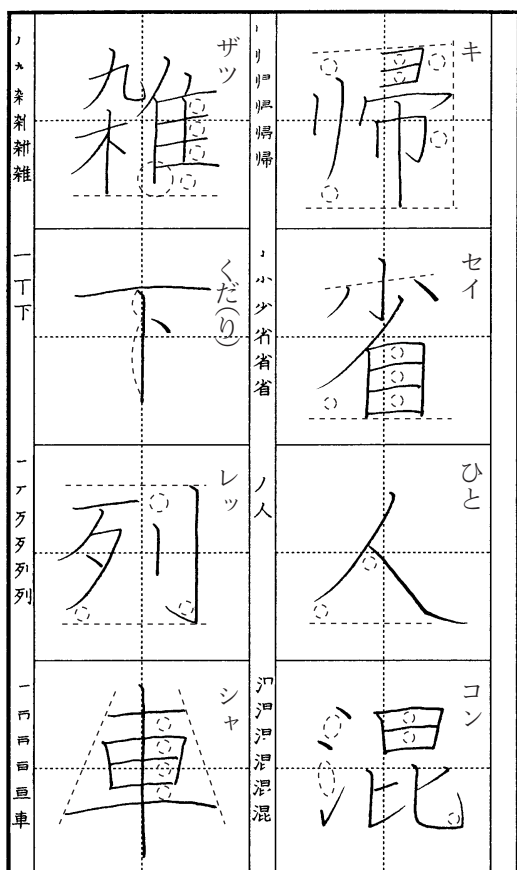


新入1級



小四年

準初段以上



解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

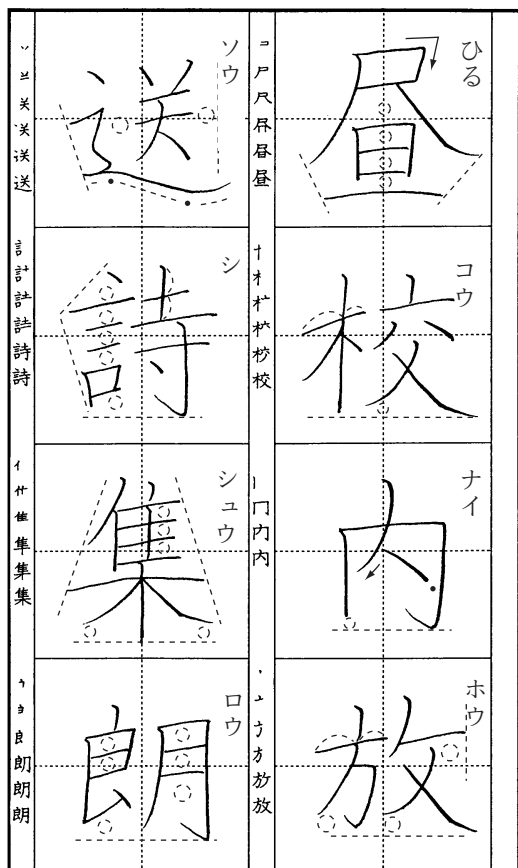


小五年

(全員)

小四以上 須田 葉書

〈ようぐ〉自由(黒色に限る)



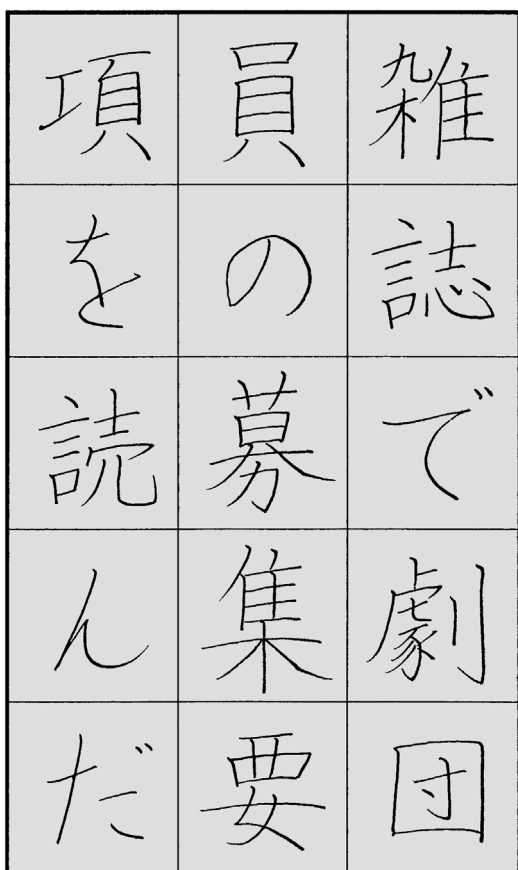
解説(よく見て習いましょう)

小六年



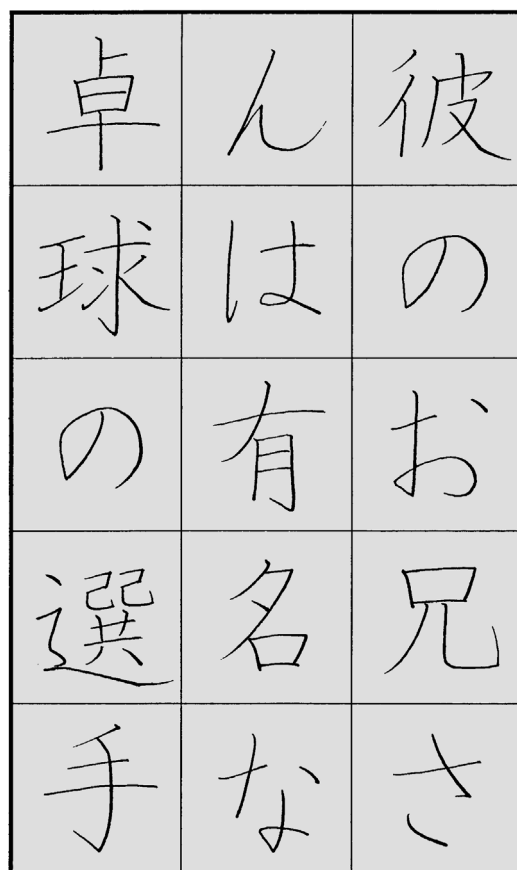
(全員)

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。



中二・三年 (楷書)

中一年 (楷書)



▼小三年以下の課題

伊 藤 由 光 書



しめきり 12月20日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

小 木 曾 花 清 書

◎お手本はえんぴつ使用

一	が	今	お	明
月	ん	年	め	け
一	ば	今	で	ま
日	ろ	年	と	し
	う	も	う	て
名	ね	お		
ま		習		
え		字		



元				賀
旦	い	ご	皆	
	た	健	様	正
	し	康	の	
氏	ま	を		
	す	お		
		祈		
名		り		



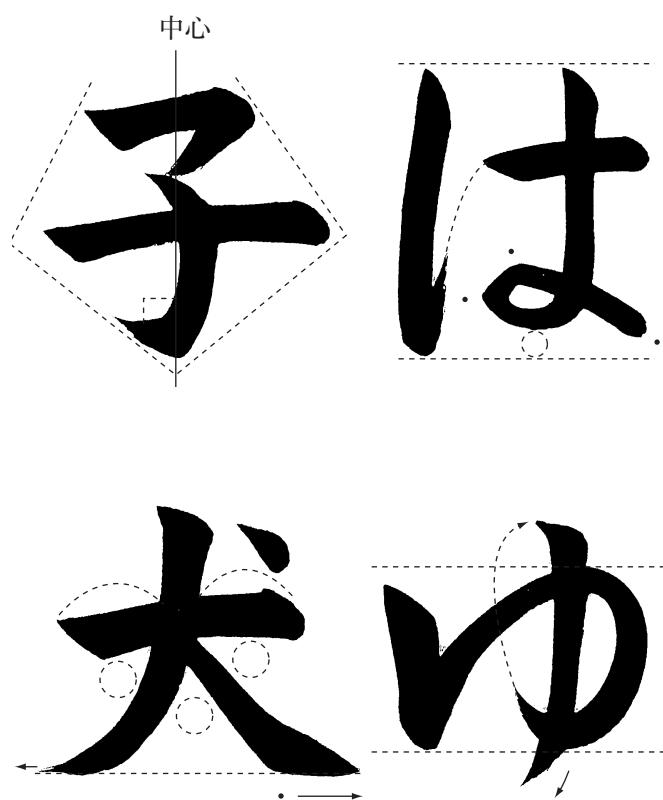
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

◎お手本はつけペン使用



幼年／小二年
玉樹小
華書



小五
下り列車

い気合
小三

羽 気合 千
右側やや大きく
長めに
列車

小四
千羽
る

小三、小五年

水野の香竹書

中二・三
募 要
集 項

小六・中二・三年

奥村暢之書

小六
校 放
内 送

球 放
募 送
集 卓

中二
卓 選
球 手